



残した、  
**音**

風景

山の声に、  
耳を澄まして。

【山守・京北森林組合】  
やまもり

京北の林業の歴史は古く、平安京造営に際して建築用材を送り出す「御杣御料地」みそまごりょうちに定められたことが伝わっています。以来、山の守り手たちは何代にもわたって知恵と技術、自然を畏れ敬う気持ちを受け継いできました。天に向かってまっすぐに伸びる杉はその象徴。植林、雪起し、下刈り、枝打ち、間伐などの手入れを通じて、常に山の声に耳を澄ましてきた証です。山を守ることは、自然災害から里を守ることに。貴重な水源や豊かな生態系を保全し、地球温暖化を抑えることにもつながっています。



スマートフォンで読み取ると「京北の山守たち」が森林の手入れをする音が聞こえてきます。

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。